

1 グランド デザインとは

経済再生と定住促進につながる長期的なまちづくりの方向性を、
市民や事業者、大学、行政など多様な関係者と共有し、
それぞれの強みや主体性を生かしながら、「オール長崎」でまちづくりの推進を目指すもの。

2 策定背景

これ
まで

港を通じて国内外の様々な文化を取り入れ発展した、
海・山に囲まれた坂のまち



出典：国土地理院ウェブサイト

- 長崎市は、独特な地形と港を通じた国際交流・交易の積み重ねにより、国際色豊かで多様な都市文化を形成。
- 被爆の惨禍から復興し、平和都市として国際的な役割を果たすとともに、周辺の町との合併を重ね、豊かな個性をもつ都市として発展。



いま

人口減少による都市の持続可能性の危機や、
ライフスタイル・価値観の変化・多様化に直面

危機

都市の持続可能性の危機

2050年、

- 人口は30万人を下回る予測
- 生産年齢人口（働き手）と高齢人口は同規模に

ますます厳しくなる財政運営

- 人口減少に伴う税収減や高齢化進展に伴う社会保障費の増加など

変化

ライフスタイル・価値観の変化・多様化

- 働き方や暮らし方に対する意識・価値観の変化
- 都市に対するニーズの変化・多様化

これ
から

みらいの長崎

ここで暮らす人々が生き生きと暮らし、世界の人々を引きつけ、
交流が生まれる活気と魅力あふれるまち、長崎。

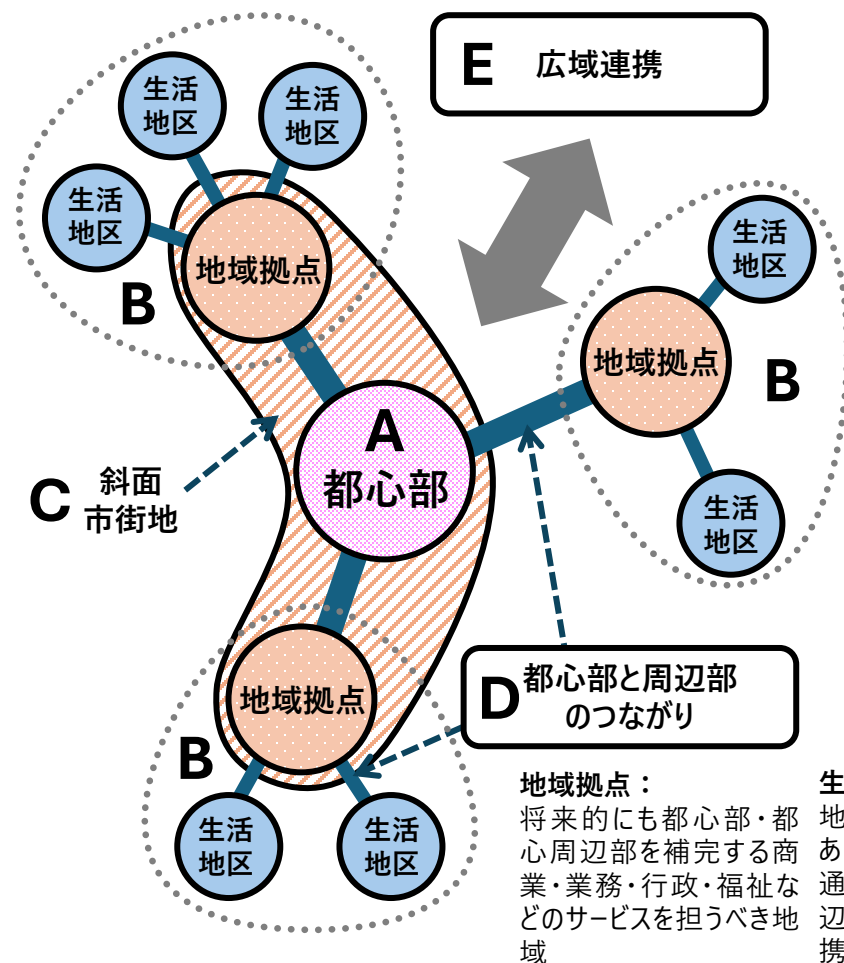
- 若い人に選ばれ、子どもたちが健やかに成長でき、すべての人が自分らしい暮らしを選択できる豊かな暮らしを実現するまちづくり
- 新たなチャレンジや交流を生み出し経済を支えるまちづくり



みらいの長崎に向けたまちづくりを進めるため、
「オール長崎」で取り組むまちづくりの方向性を示した、グランドデザインを策定。

長崎市がもつ強みや可能性を最大限に活かした取組みをしていく！

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし・過ごし方を選択でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり



【市全体】
まちづくりの
テーマ

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし・過ごし方
を選択でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり

A
都心部

まちづくりのテーマ

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

方針Ⅰ 交流や多様な活動を生み出そう

方針Ⅱ 人中心の楽しい都市空間を創出しよう

方針Ⅲ エリアの価値創造に取り組もう

B
地域拠点

まちづくりのテーマ

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう

方針Ⅱ 魅力あるエリア環境を整えよう

方針Ⅲ 豊かな自然など地域の魅力を活用しよう

生活地区

C
斜面市街地

まちづくりのテーマ

眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

方針Ⅰ 安全で暮らしやすい場所での暮らしを推進しよう

方針Ⅱ 斜面地に合った暮らしやすさを確保しよう

方針Ⅲ 斜面地ならではの魅力を活用しよう

D
都心部と周辺部のつながり

まちづくりのテーマ

だれもが円滑に移動でき、必要な生活サービスを受けられるネットワークづくり

方針Ⅰ 円滑な移動を支える道路・交通ネットワークを形成しよう

方針Ⅱ だれもが快適に移動できる手段を確保しよう

E
広域連携

まちづくりのテーマ

広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を呼び込むネットワークづくり

方針Ⅰ 広域ネットワークを形成し、活用しよう

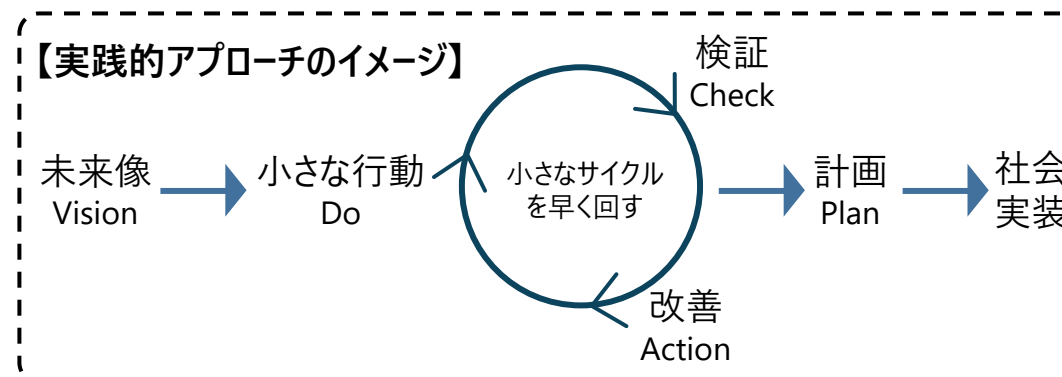
方針Ⅱ 居住機能を増進しよう

方針Ⅲ 産業機能を増進しよう

5 これからの展開

▶ 実践的なアプローチの重視

- ビジョンを持ち、社会実験を含めた小さな行動を積み上げ検証・改善し、計画から実行につなげるアプローチの重要性が増しています。短期的にこうしたアプローチを繰り返し、中長期的な行動へとつなげていきます。



▶ 連携・協働・共創によるまちづくり

- 多様化・複雑化する課題に熱意をもって取組む全国の関係・交流人口の皆様とともに共創し、まちづくりを担う人材を増やし、オール長崎でまちづくりを推進します。

▶ みらいの長崎に向けた3つのファーストステップ

- 長崎市がチャレンジの舞台として選ばれ、立場を超えたあらゆる人々の交流、協働及び共創により、グランドデザインに描いた「みらいの長崎」を実現することは喫緊の課題であることから、まずは以下のことに取組みます。

創造性を生かした 都市空間の活用による 交流拡大



出典：長崎市「長崎創生プロジェクト事業」

心地良く過ごせる場所づくり や都市空間活用を促進する 体制・仕組みづくり



出典：岡山市「ハレまち通り」

地域の暮らしを支える 「小さな拠点」づくり



出典：内閣府「小さな拠点・地域運営組織に関する手引き・事例集」、農林水産省「6次産業化の取組事例集」

グランドデザインの詳細はこちらから発信しています。
参考資料もこちらからご確認いただけます。

長崎市HP



長崎まちづくりのグランドデザイン 🔍

編集・発行

長崎市まちづくり部都市計画課

TEL : 095-829-1169

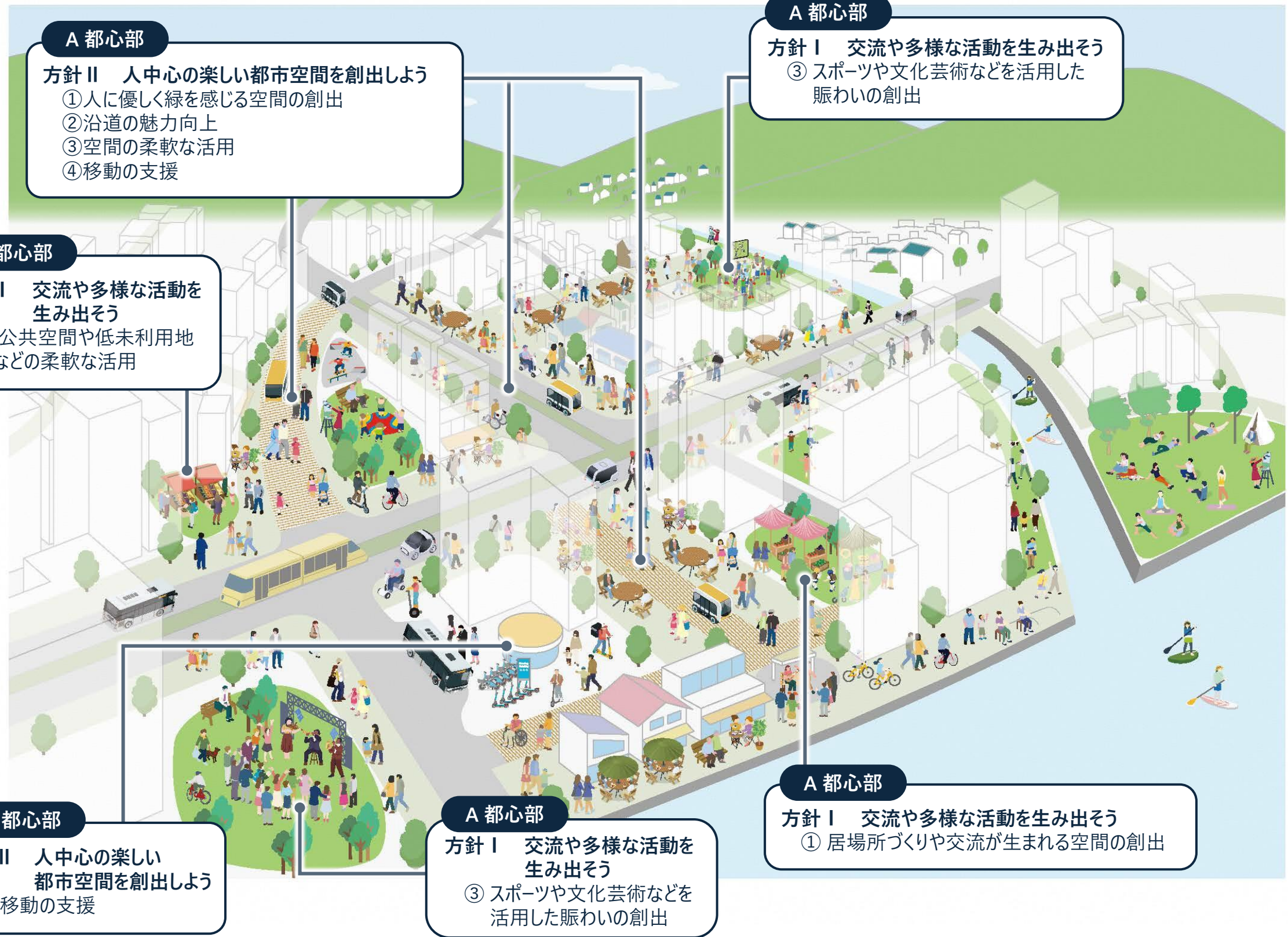
FAX : 095-829-1168

Email :

toshimasu@city.nagasaki.lg.jp

A 都心部

まちづくりのテーマ 人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり



B

地域拠点

生活地区

まちづくりのテーマ

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

B 地域拠点・生活地区

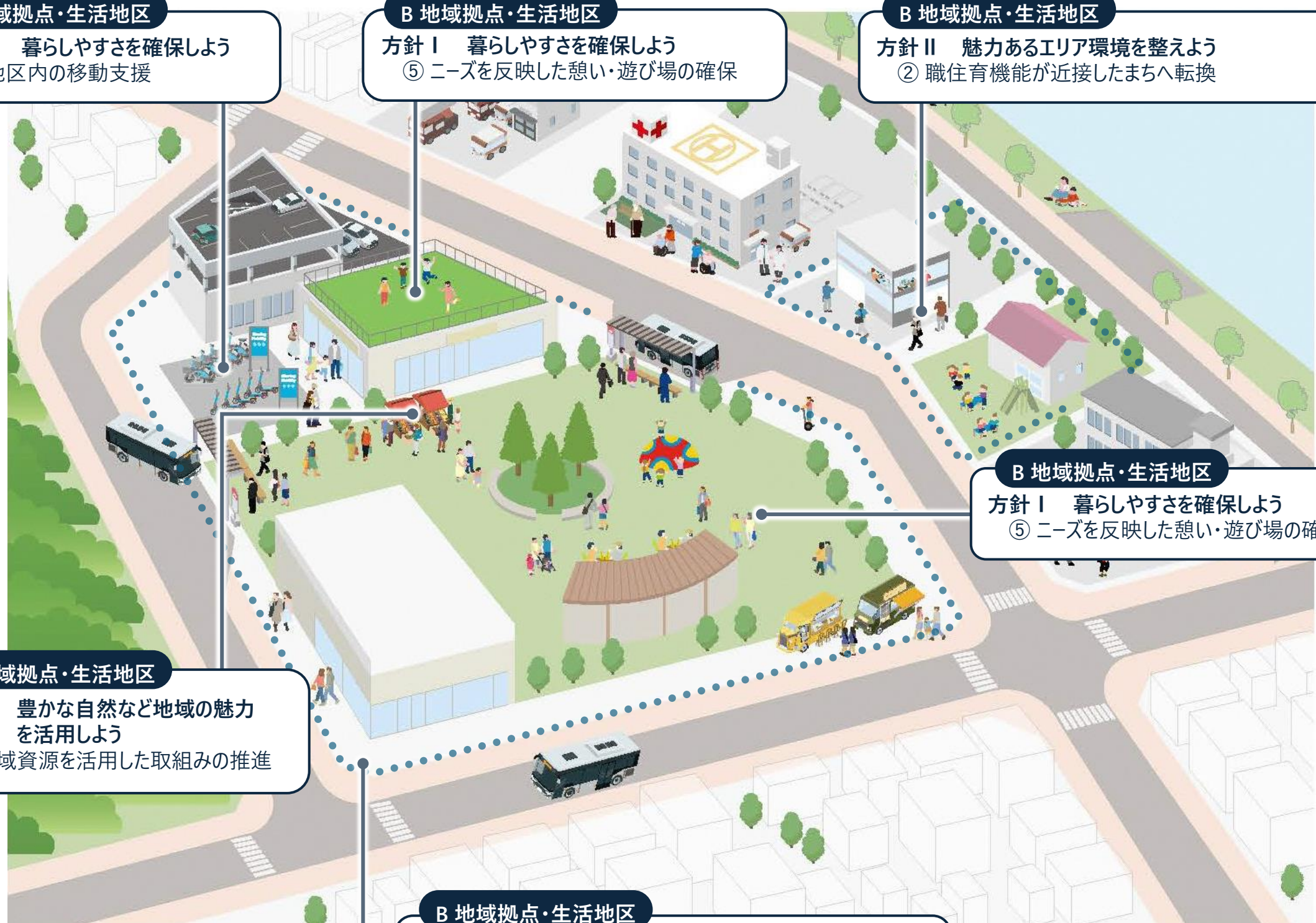
方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう
③ 地区内の移動支援

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう
⑤ ニーズを反映した憩い・遊び場の確保

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅱ 魅力あるエリア環境を整えよう
② 職住育機能が近接したまちへ転換



B 地域拠点・生活地区

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう
⑤ ニーズを反映した憩い・遊び場の確保

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅲ 豊かな自然など地域の魅力を
活用しよう
① 地域資源を活用した取組みの推進

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう
① 都市機能の維持・向上、② 交通の要衝としての整備

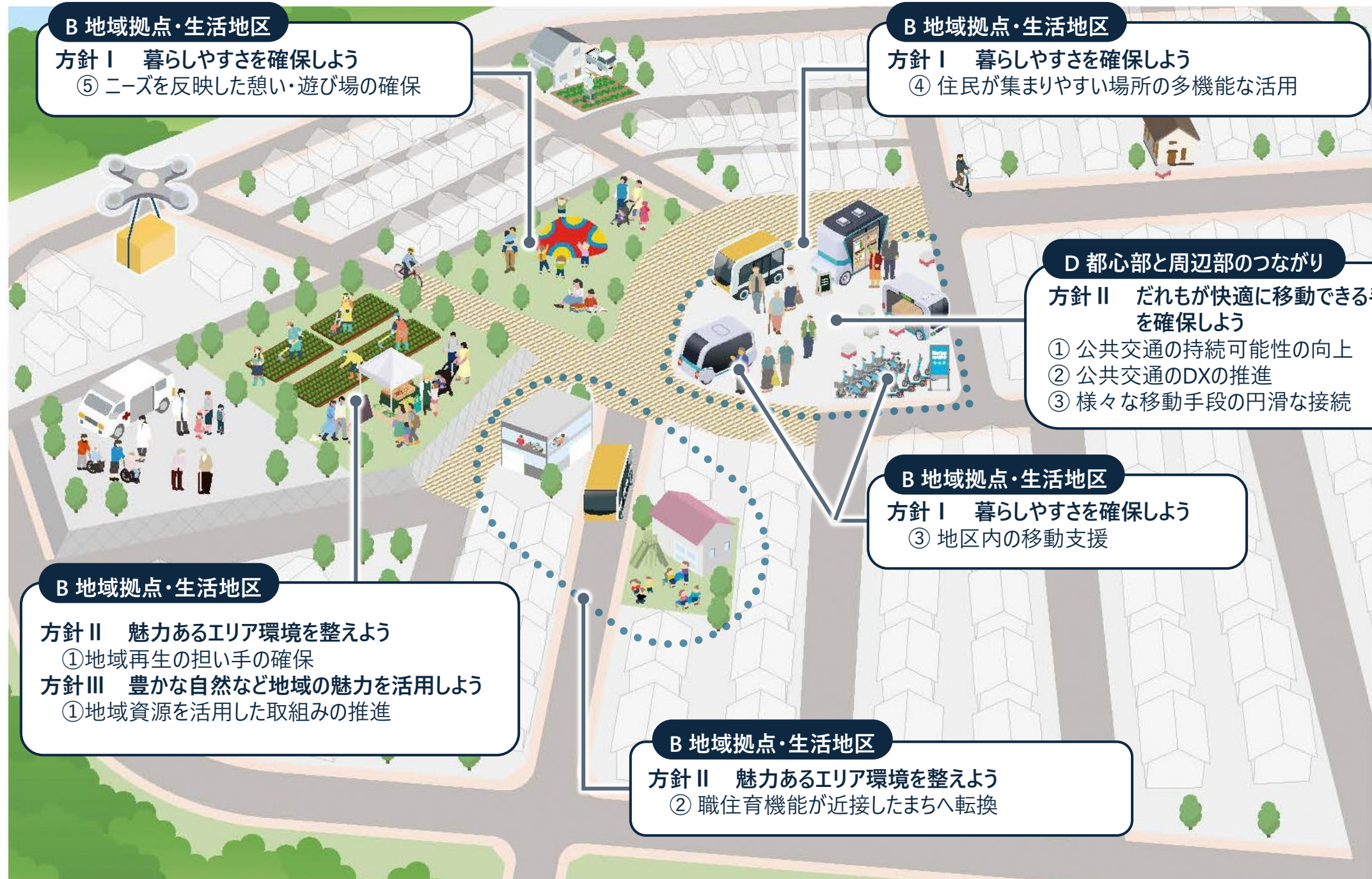
B

地域拠点

生活地区

まちづくりのテーマ

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり



B

地域拠点

生活地区

まちづくりのテーマ

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり



B 地域拠点・生活地区

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう

④ 住民が集まりやすい場所の多機能な活用

D 都心部と周辺部のつながり

方針Ⅱ だれもが快適に移動できる手段を確保しよう

- ① 公共交通の持続可能性の向上
- ② 公共交通のDXの推進
- ③ 様々な移動手段の円滑な接続

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅲ 豊かな自然など地域の魅力を活用しよう

② 地域の魅力に触れられる場の確保

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅱ 魅力あるエリア環境を整えよう

① 地域再生の担い手の確保

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅲ 豊かな自然など地域の魅力を活用しよう

① 地域資源を活用した取組みの推進

テーマ：地域拠点・生活地区

方針Ⅰ 暮らしやすさを確保しよう

③ 地区内の移動支援

B 地域拠点・生活地区

方針Ⅱ 魅力あるエリア環境を整えよう

② 職住育機能が近接したまちへ転換

C 斜面市街地

まちづくりのテーマ 眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

